

九州大学無線LANアクセスサービス 一時利用サービス (学外者用) 無線LAN接続セットアップシート

Windows 10編

目次

はじめに

- ・無線LAN (kitenet) の接続手順
- ・接続/認証が上手くいかない
- ・無線LANの設定を削除したい

《はじめに》

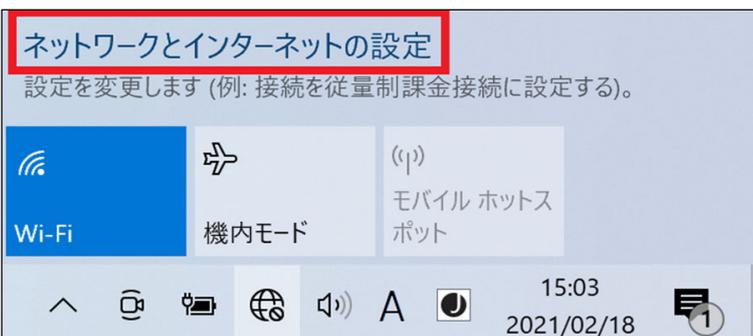
- 九州大学無線LANアクセスサービス (kitenet) は、九州大学情報統括本部が提供する無線LANインターネットアクセスサービスです。一時利用サービスは、本学の教育、研究もしくはこれに準ずる目的のため、学内における学外者の無線LANの利用を一時的に許可するものです。利用するにあたり、ユーザID、パスワードが必要になります。ユーザID、パスワードについては、主催者の担当者にご確認ください。付与されるIPアドレスは、学外のIPアドレスになります。
- 無線LAN接続に必要なもの
 - ①Microsoft Windows 10が搭載されたパソコン。
 - ②WiFi規格に準拠したワイヤレス機能 (パソコン内蔵及び外付けのLANカードなど)
 ※上記、無線LAN機器がWPA2の暗号化方式で、認証方式が802.1x認証によるPEAP/MSCHAPv2に対応していること。
- 利用上の注意
 - ①セキュリティ対策のため、以下の対策を必ず行ってください。
 - ・Windows Update の実施。
 - ・ウイルス対策ソフトウェア及び最新の定義ファイルをインストールし、定期的なウイルス・スキャンを実施すること。
 - ②インターネット上での著作権法の遵守
本学では、インターネット上での著作権法の遵守のためにファイル交換ソフト(Winny, Limewire, eDonkey, emule, 迅雷, 酷狗等)の使用を禁止しています。インターネットに不法に流通する音楽や動画等のファイルをダウンロード (アップロード) することは、著作権侵害となり非常に深刻な事態となる可能性があります。(ファイル交換ソフトの使用は、本学の検知システムや著作権協会から常に監視されています。)

本手順書は、Windows標準機能を使用した無線LAN接続手順書です。無線LANカードの付属ソフト等を使用して設定を行う場合は、機器の設定マニュアルをご覧ください。

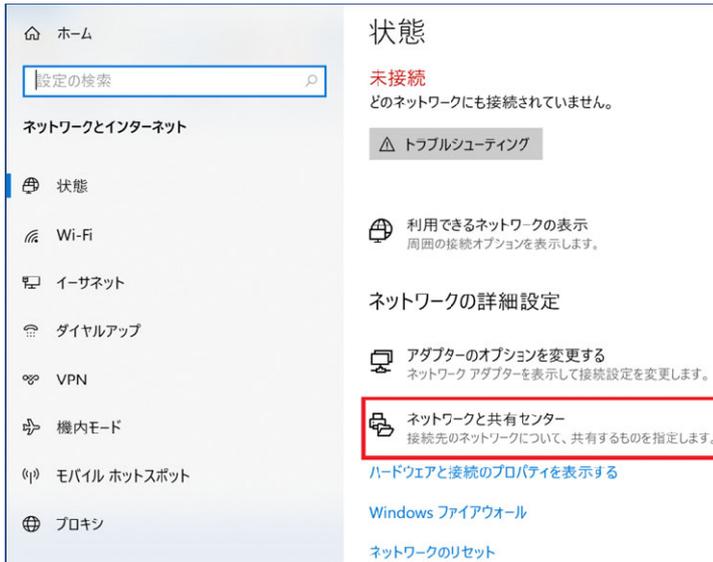
《無線LAN (kitenet) の接続手順》



- ① 画面右下の地球マークにマウスカーソルを持っていき、左クリックをします。

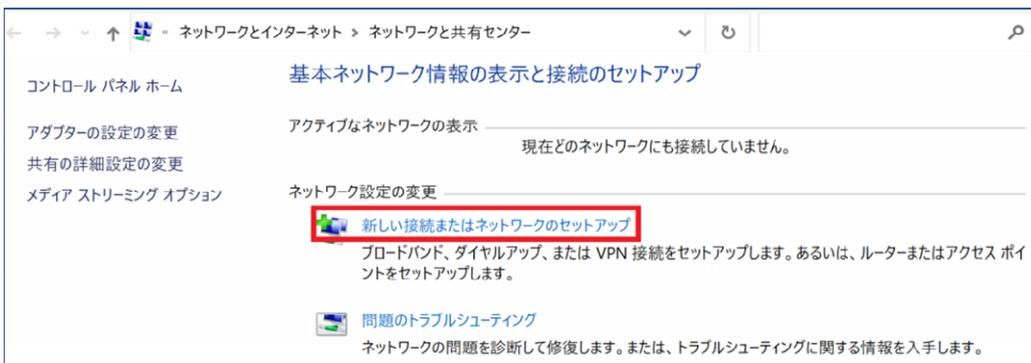


- ② 「ネットワークとインターネットの設定」を選択します。

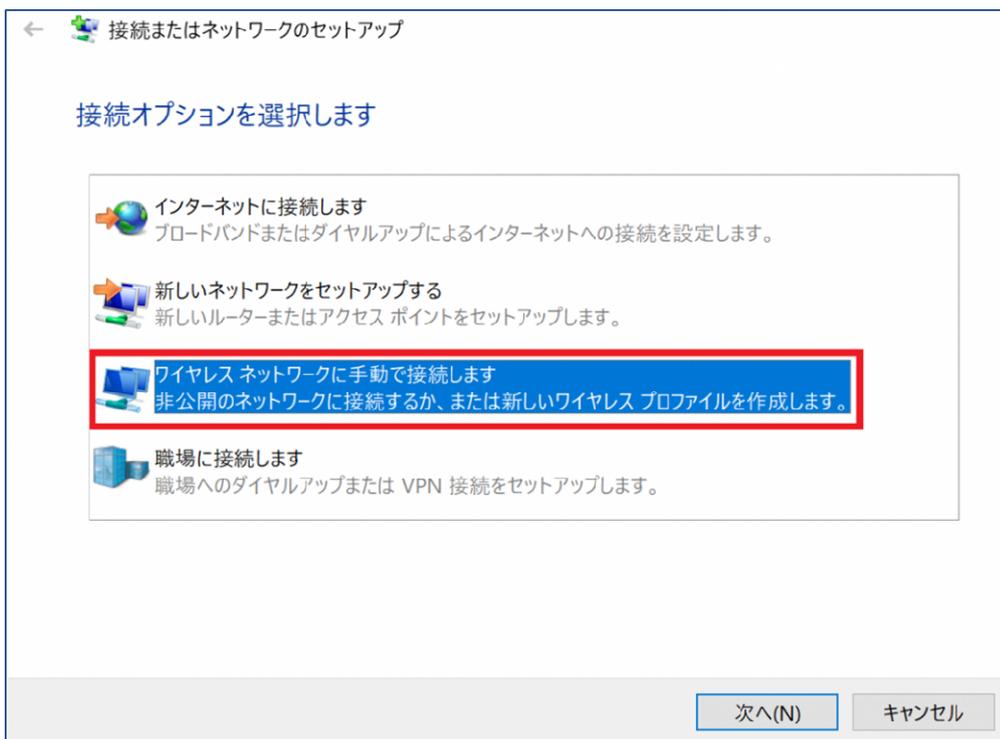


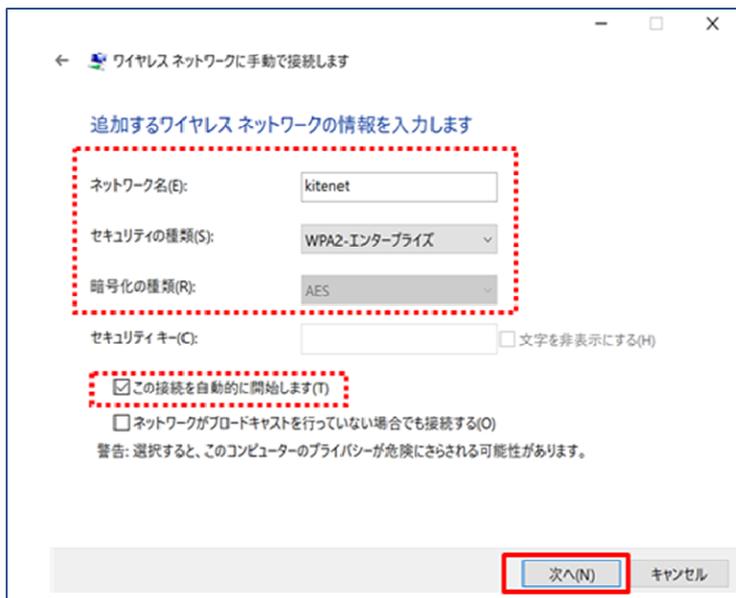
③ 「ネットワークと共有センター」を選択します。

④ 「新しい接続またはネットワークのセットアップ」をクリックします。



⑤ 「ワイヤレスネットワークに手動で接続します」をクリックします。





⑥ 追加するワイヤレスネットワークの情報を以下の通り設定します。

- ・ネットワーク名： **kitenet**
- ・セキュリティの種類： **WPA2-エンタープライズ**
- ・暗号化の種類： **AES**

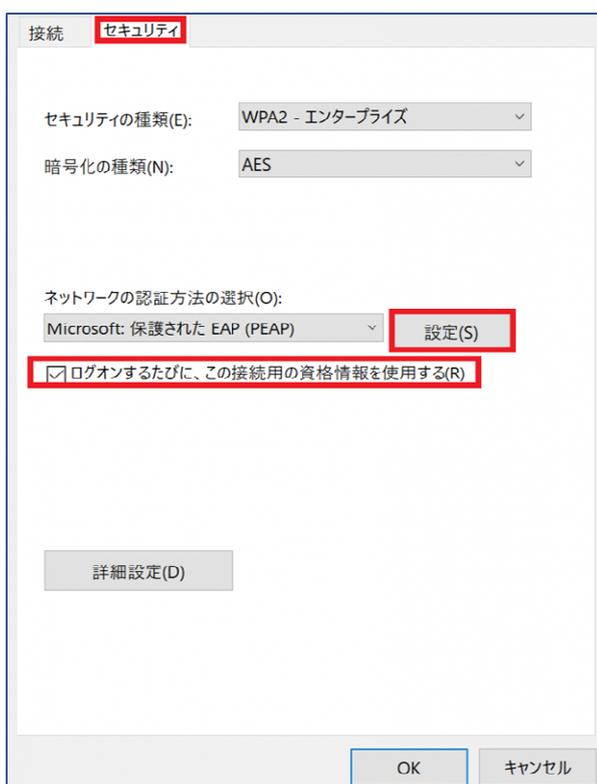
以下の項目にチェックを入れます。

- ・この接続を自動的に開始します

「次へ」をクリックします。



⑦ 「接続の設定を変更します」をクリックします。



⑧ 「セキュリティ」タブをクリックします。
ネットワークの認証方法の選択で「**Microsoft 保護された EAP (PEAP)**」を選択。
「**ログオンするたびに、この接続用の資格情報を使用する**」にチェック。
その後、「**設定**」をクリックします。

接続のための認証方法:

証明書を検証してサーバーの ID を検証する(V)

次のサーバーに接続する (例: srv1、srv2、.*¥.srv3¥.com)(O):

信頼されたルート証明機関(R):

- AAA Certificate Services
- Baltimore CyberTrust Root
- Class 3 Public Primary Certification Authority
- COMODO RSA Certification Authority
- DigiCert Assured ID Root CA
- DigiCert Global Root CA
- DigiCert Global Root G2
- DigiCert High Assurance EV Root CA
- DST Root CA X3

接続前の通知(T):

サーバーの ID を確認できない場合にユーザーに通知する

認証方法を選択する(S):

セキュリティで保護されたパスワード (EAP-MSCHAP v2)

高速再接続を有効にする(F)

サーバーに暗号化バインドの TLV がない場合は切断する(D)

ID プライバシーを有効にする(I)

⑨ 接続のための認証方法で「証明書を検証してサーバーのIDを検証する」のチェックを外します。認証方法を選択するを「セキュリティで保護されたパスワード (EAP-MSCHAP v2)」を選択し、「構成」をクリックします。

EAP MSCHAPv2 のプロパティ

接続のための認証方法:

Windows のログオン名とパスワード (およびドメインがある場合はドメイン) を自動的に使う(A)

⑩ 「接続のための認証方法」のチェックを外し、「OK」をクリックします。

接続のための認証方法:

証明書を検証してサーバーの ID を検証する(V)

次のサーバーに接続する (例: srv1、srv2、.*¥.srv3¥.com)(O):

信頼されたルート証明機関(R):

- AAA Certificate Services
- Baltimore CyberTrust Root
- Class 3 Public Primary Certification Authority
- COMODO RSA Certification Authority
- DigiCert Assured ID Root CA
- DigiCert Global Root CA
- DigiCert Global Root G2
- DigiCert High Assurance EV Root CA
- DST Root CA X3

接続前の通知(T):

サーバーの ID を確認できない場合にユーザーに通知する

認証方法を選択する(S):

セキュリティで保護されたパスワード (EAP-MSCHAP v2)

高速再接続を有効にする(F)

サーバーに暗号化バインドの TLV がない場合は切断する(D)

ID プライバシーを有効にする(I)

⑪ 「OK」ボタンをクリックします。

接続 セキュリティ

セキュリティの種類(E): WPA2 - エンタープライズ

暗号化の種類(N): AES

ネットワークの認証方法の選択(O):
Microsoft: 保護された EAP (PEAP) 設定(S)

ログオンするたびに、この接続用の資格情報を使用する(R)

詳細設定(D)

OK キャンセル

⑫ 「詳細設定」をクリックします。

詳細設定

802.1X の設定 802.11 の設定

認証モードを指定する(P):

ユーザー認証 資格情報の保存(C)

すべてのユーザーの資格情報を削除する(D)

このネットワークに対するシングル サインオンを有効にする(S)

ユーザー ログオンの直前に実行する(E)

ユーザー ログオンの直後に実行する(F)

最大待ち時間 (秒)(M): 10

シングル サインオン中に追加のダイアログの表示を許可する(L)

このネットワークでは、コンピューターとユーザーの認証に別の仮想 LAN を使用する(V)

OK キャンセル

⑬ [802.1Xの設定]タブの「認証モードを指定する」チェックを入れ、「ユーザー認証」を選択し、「資格情報の保存」をクリックします。

Windows セキュリティ

資格情報の保存

資格情報を保存すると、ログオンしていなくてもコンピューターがネットワークに接続できるようになります (更新プログラムをダウンロードする場合など)。

xxxxxxxxxx@

●●●●●●●●●●

OK キャンセル

⑭ IDとパスワードを入力する画面が表示されるので、上の入力欄にユーザ名を、下の入力欄にパスワードを入力します。

※ユーザID、パスワードは、主催者側にご確認ください。
「OK」をクリックします。

※パスワードのスペルミスが多いです。メモにパスワードを打ちこみコピー&ペーストすることをお勧めします。

・「このネットワークを記憶」にチェックを入れます。
「OK」をクリックし、詳細設定の画面も「OK」をクリックします。

詳細設定

802.1X の設定 802.11 の設定

認証モードを指定する(P):

ユーザー認証 資格情報の保存(C)

すべてのユーザーの資格情報を削除する(D)

このネットワークに対するシングル サインオンを有効にする(S)

ユーザー ログオンの直前に実行する(E)
 ユーザー ログオンの直後に実行する(F)

最大待ち時間 (秒)(M): 10

シングル サインオン中に追加のダイアログの表示を許可する(L)

このネットワークでは、コンピューターとユーザーの認証に別の仮想 LAN を使用する(V)

OK キャンセル

⑮ 「OK」をクリックします。

接続 セキュリティ

セキュリティの種類(E): WPA2 - エンタープライズ

暗号化の種類(N): AES

ネットワークの認証方法の選択(O): Microsoft 保護された EAP (PEAP) 設定(S)

ログオンするたびに、この接続用の資格情報を使用する(R)

詳細設定(D)

OK キャンセル

⑯ 「OK」をクリックします。



⑰ kitenetの受信エリアであれば自動的に接続されます。左記のように表示されていれば、「接続完了」です。※初回の接続時は、数十秒接続に時間を要することがあります。

以上で無線LAN(kitenet)への接続手順は終了です。上記手続きが正常に完了しますと、ネットワークに接続されます。

《接続／認証が上手くいかない場合》



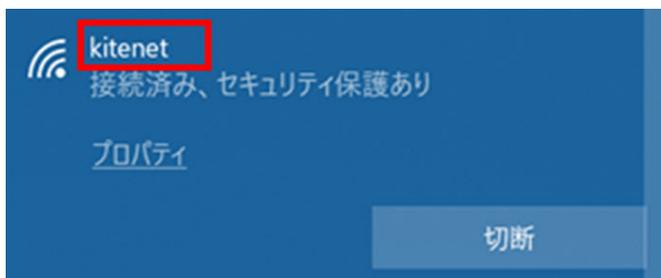
① 画像のように電波マークがグレーで星印が付いており、しばらく待っても白い電波マークにならない場合は、無線LAN(kitenet)に接続できていません。



② 受信している電波一覧が表示し「kitenet」をクリックしてください。



③ 「自動的に接続」の先頭にチェックが付いていない場合はチェックを付けてください。そして「接続」をクリックします。



④ 「kitenet」の下に「接続済み」と表示されれば、接続完了です。

それでも接続できない場合は、以下の方法を試してください。

《無線LANの設定を削除したい場合》



① どうしても繋がらない場合は、設定が間違っていると思われます。再度、設定をやり直す必要があります。画面右下の地球マークをクリックしてください。受信している無線LANの電波一覧が表示されるので、下部に表示されている「ネットワークとインターネットの設定」をクリックしてください。

② 新しいウィンドウが表示されるので「Wi-Fi」をクリックしてください。表示された画面の下の方に「既知のネットワークの管理」という項目が表示されます。





③ 「kitenet」をクリックし「削除」ボタンを押してください。
これで間違った設定が削除されます。改めて本マニュアルの最初から設定をやり直してください。

以上で無線LANの設定を削除されます。

※利用に必要なユーザID及びパスワードは、主催者にお知らせしておりますので、主催者側の担当者にお尋ねください。
情報統括本部から利用者に直接お知らせすることは行っておりませんので、ご了承ください。

※接続できない場合の問い合わせは、主催者の方より問い合わせください。

○無線LAN(kitenet)についてのお問い合わせ先：九州大学 情報統括本部ネットワーク事業室

連絡先：092-802-2686,2687,2688（伊都 90-2686,2687,2688）

E-mail: n-room@iii.kyushu-u.ac.jp